

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2022年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱
工期	令和4年11月21日 ~ 令和4年11月30日		作成者	中島 強太
作業名称	湧水対策工	作業手順書	作成年月日	令和4年11月9日
使用機械 使用設備	クレーン付きユニック、ダンプトラック		改正年月日	
			現場責任者	
使用工具、機器	スコップ、ほうき、鋤簾、パール、大ハンマー、ブロワー		協力会社	会社名
	エンジンカッター、電動ピック、電動サンダー、発電機、延長コード		協力会社責任者	自署サイン
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、マスク、手袋(切創・振動)、保護メガネ視認性の良い作業着		作業順序	
材料	鉄筋コンクリート丸杭・板柵、公園樹、硬質塩化ビニル有孔管、 自動車運転免許証(中型)、小型移動式クレーン運転技能(つり上げ加重:5t未満)			
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	振動工具取扱作業安全衛生教育、研削といしの取替え又は取替時の試運転			
作業人員	作業責任者 1人、作業員 5名			
	※作業量に応じて人員増員あり 合計 6名			
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日		
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自署サインする)			

1	事前準備
2	出発～現場
3	溜樹・導水管設置
4	法面整形
5	排水管設置
6	土留柵設置
7	後片付け

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○○	○△	○×	○○	1:極めて小さい 関係者に対する周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△○	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい 関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×○	×△	××	○×、△△、×△ △×、×△ ××	3:中程度 職長が確認 4:かなり大きい 工事担当責任者が確認 5:極めて大きい 十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定
(誰が)	主なステップ	作業のポイント	(予想されるミス・ロス)						(防止対策)
準備作業(全員)		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。 <b>工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。</b> 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 <b>車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。</b>							
現地確認(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
ケーブル等周辺安全確認 (埋設物・構造物)		管理用図面で事前確認	図面がない露出ケーブルを剣スコップや鎌で損傷させる	△	×	△×	4	安	作業前に全員で現場を確認し、ケーブルの有無を全員が把握する
事前準備	出発前の車両点検及び道具の準備	忘れ物がないよう全員で準備を行う	重量物を降ろしたり運ぶ際に腰を痛める	×	○	×○	3	安	重量物を運ぶ際は、2名以上で声を掛け合いながら運ぶ。
出発～現場	規制内への流入する	事前に規制責任者へ報告	規制内流入時、一般車が規制内へ誤進入し、保安員と接触する	○	×	○×	3	安	回転灯、ハザード、ウインカーの順でルールを守る
溜樹・導水管設置	溜樹本体を設置する為に床堀を実施する	事前準備作業の為、撤去等を行う	エンジンカッターにて保護○切断時、誤って切創する	△	△	△△	3	安	有資格者の元作業を実施し、作業範囲内を立入禁止する又、作業時はキックバックを考慮し低速回転～作業を行う
	溜樹を設置する	吊り荷作業時の注意	ユニック及び人力にて溜樹設置時、吊り荷の下じきになる	○	×	○×	3	安	ユニック操作者及び玉掛け者の打合せを確実に実施し、吊りに作業範囲には立ち入らない
	導水管を接続する	電動チッパーを使用時のコア抜き作業を行う	電動チッパーを用いてコア抜き作業時に、誤って手元に接触する	△	△	△△	3	安	有資格者の元、作業を実施し防振手袋着用・研り方向を注意する
法面整形	のり面整形の実施する	法面作業時の滑落注意	法面整形時、足元のぬかるみ及び急勾配にて転落する	○	△	○△	2	安	作業実施前に、安全対策を実施し滑りにくい靴及び足場の設置を行う
排水管設置	整形後、下方排水溝へ排水管を設置する	設置時、脱落下側作業員と接触	作業時、誤って排水管を落下させ下方作業員と接触する	△	△	△△	3	安	重量物を下す際は、補助ロープ等を使用し声かけを行う
越流防止設置	コンクリート杭・柵板を設置する	ゴムハンマーを使用して建柱、柵板を設置する	建柱時、コンクリート杭が転倒及び柵板に手足を挟む危険	△	△	△△	3	安	作業時は、2名以上にて作業順序を確認し危険な場合はただちに現場から離れる
後片付け	忘れ物がないか全員で最後に現場周りを確認	回収した汚泥は適切な処理方法(マニフェスト記載)の通りに処分する							
現場離脱	現場から離脱する	安全に離脱する	一般車との接触する。	△	×	△×	4	安	保安員の合図で現場規制内から離脱する
			荷台から物を落とし、一般車に当たる	×	△	×△	2	安	現場離脱前に必ず荷台の点検・確認を行うこと。
									<b>工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事</b>